



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <https://www.saturin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 忠應
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 南 誠
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札
 TEL 011-613-3210

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,900	5.6	131	55.0	223	23.9	78	27.1
2022年3月期第1四半期	4,638	13.9	292	762.5	293	638.0	107	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 120百万円 (58.5%) 2022年3月期第1四半期 75百万円 (643.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	23.35	
2022年3月期第1四半期	31.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	16,173	10,352	62.3	3,026.89
2022年3月期	16,149	10,337	62.6	3,016.24

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 10,081百万円 2022年3月期 10,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		23.00	23.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,447	1.2	485	37.6	476	41.9	301	34.2	89.88
通期	19,364	1.3	1,165	24.2	1,110	30.8	714	31.5	213.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	4,216,000 株	2022年3月期	4,216,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	885,422 株	2022年3月期	862,722 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	3,346,043 株	2022年3月期1Q	3,422,024 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の波が断続的に発生し、依然として厳しい状況で推移いたしました。ワクチン接種が進み、政府主導の景気対策など、段階的な経済活動の再開による持ち直しも見られましたが、一方でエネルギー価格や原材料価格などの上昇により個人消費が冷え込むなど、総じて厳しい状況で推移しております。更には、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を発端とした世界的な情勢不安もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

医療業界におきましては、医療費抑制政策等の社会的要請を背景に、引き続き後発医薬品の使用拡大及びセルフメディケーションに対する取組み強化等の対応が求められるとともに、継続的な薬価改定の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、更なる経営努力が求められる事業環境となっております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な事業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得等による、営業基盤の拡大と継続的な経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,900百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益131百万円（同55.0%減）、経常利益223百万円（同23.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益78百万円（同27.1%減）と増収減益になりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、診療報酬改定に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける状況下において、PCR検査の診療報酬の引下げがありましたが、PCR検査の受託が増加したことに加え、前期に稼働した子会社2社の業績が順調に推移したことから、売上高2,096百万円（前年同期比11.5%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、前述のPCR検査の診療報酬の引下げに加え、経費が増加したことから、セグメント利益199百万円（同34.2%減）と前年同期を下回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、診療報酬改定と薬価改定による薬価の引下げに加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける状況下において、前連結会計年度下期に開局した2店舗等により処方箋枚数は増加しましたが、薬価引下げ及び調剤報酬算定制度変更の影響により処方箋単価が下落したことから、売上高2,548百万円（前年同期比0.9%減）と前年同期を下回りました。

利益面につきましては、経費削減等を行ってまいりましたが、前述した2店舗の経費の増加等によりセグメント利益77百万円（同40.7%減）と前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、備品の販売が前年同期を上回ったことから、売上高232百万円（同36.6%増）となりましたが、介護事業において先行投資を行ったことからセグメント損失2百万円（前年同期はセグメント利益7百万円）と前年同期を下回りました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高22百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益15百万円（同44.5%増）と増収増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加(前連結会計年度末比0.6%増)いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が109百万円、その他が627百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が643百万円、商品が137百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は8,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少(同0.2%減)いたしました。これは主に建物及び構築物が6百万円増加しましたが、リース資産が151百万円、投資有価証券が4百万円、工具、器具及び備品が3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は16,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加(同0.1%増)いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加(同2.1%増)いたしました。これは主に未払法人税等185百万円、賞与引当金が52百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が119百万円、未払金が121百万円、その他が56百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は2,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少(同2.3%減)となりました。これは主に長期借入金が33百万円、リース債務が18百万円、役員退職慰労引当金が4百万円、長期未払金が3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,821百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加(同0.2%増)いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は10,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加(同0.1%増)いたしました。これは、剰余金の配当77百万円、自己株式の取得29百万円、その他有価証券評価差額金の洗替え4百万円によりそれぞれ減少いたしましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益78百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益47百万円によりそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.3%となり、前連結会計年度末比0.3ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は3,026円89銭となり、前連結会計年度末比10円65銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染の影響は依然として不透明であり、現段階においては、2023年3月期においても継続することを仮定とし、2022年5月13日に公表した連結業績予想から変更しておりません。

今後、当社グループの業績予想において修正が必要となった場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,990,653	3,633,721
受取手形、売掛金及び契約資産	3,023,730	2,913,999
商品及び製品	409,540	546,842
仕掛品	26,799	50,542
原材料及び貯蔵品	54,352	30,137
その他	753,319	125,952
貸倒引当金	△28,751	△27,083
流動資産合計	7,229,644	7,274,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,960,833	5,022,471
減価償却累計額	△1,297,726	△1,352,562
建物及び構築物(純額)	3,663,106	3,669,908
機械装置及び運搬具	27,089	25,892
減価償却累計額	△22,030	△21,400
機械装置及び運搬具(純額)	5,059	4,491
工具、器具及び備品	2,148,429	2,173,783
減価償却累計額	△1,766,731	△1,796,000
工具、器具及び備品(純額)	381,697	377,782
土地	3,429,506	3,429,506
リース資産	715,290	719,283
減価償却累計額	△66,959	△86,369
リース資産(純額)	648,331	632,914
有形固定資産合計	8,127,702	8,114,604
無形固定資産		
その他	60,128	59,447
無形固定資産合計	60,128	59,447
投資その他の資産		
投資有価証券	142,407	137,704
長期貸付金	7	—
長期前払費用	29,916	27,099
差入保証金	179,172	177,185
繰延税金資産	162,164	162,048
その他	235,146	237,752
貸倒引当金	△16,841	△16,841
投資その他の資産合計	731,974	724,949
固定資産合計	8,919,805	8,899,001
資産合計	16,149,449	16,173,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,258,565	2,378,408
1年内返済予定の長期借入金	133,692	133,692
リース債務	106,041	114,495
未払法人税等	294,056	109,021
賞与引当金	120,975	68,067
未払金	125,075	247,060
資産除去債務	28,000	28,000
その他	215,389	271,395
流動負債合計	3,281,795	3,350,140
固定負債		
長期借入金	1,732,321	1,698,898
リース債務	610,978	592,962
役員退職慰労引当金	66,870	62,247
退職給付に係る負債	16,107	16,473
長期末払金	97,363	94,311
その他	6,053	5,993
固定負債合計	2,529,694	2,470,886
負債合計	5,811,490	5,821,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	8,812,690	8,813,684
自己株式	△728,236	△757,451
株主資本合計	10,083,073	10,054,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,227	26,454
その他の包括利益累計額合計	31,227	26,454
非支配株主持分	223,659	270,779
純資産合計	10,337,959	10,352,086
負債純資産合計	16,149,449	16,173,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,638,812	4,900,050
売上原価	3,103,187	3,428,989
売上総利益	1,535,625	1,471,061
販売費及び一般管理費	1,243,239	1,339,384
営業利益	292,385	131,676
営業外収益		
受取利息	46	29
受取配当金	3,172	2,817
受取賃貸料	11,554	11,262
助成金収入	—	87,229
その他	3,175	4,123
営業外収益合計	17,948	105,462
営業外費用		
支払利息	2,233	2,031
賃貸収入原価	11,807	11,689
その他	2,712	10
営業外費用合計	16,753	13,730
経常利益	293,581	223,408
特別利益		
固定資産売却益	42	14
特別利益合計	42	14
特別損失		
固定資産除却損	696	1,188
減損損失	28,552	—
事務所移転費用	73,127	—
特別損失合計	102,376	1,188
税金等調整前四半期純利益	191,247	222,234
法人税等	85,143	96,994
四半期純利益	106,104	125,239
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,054	47,120
親会社株主に帰属する四半期純利益	107,158	78,119

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	106,104	125,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,108	△4,772
その他の包括利益合計	△30,108	△4,772
四半期包括利益	75,995	120,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,050	73,346
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,054	47,120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,879,829	2,570,114	170,346	4,620,291	18,521	4,638,812
外部顧客への売上高	1,879,829	2,570,114	170,346	4,620,291	18,521	4,638,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	539,457	539,457	351	539,808
計	1,879,829	2,570,114	709,804	5,159,749	18,872	5,178,621
セグメント利益	303,905	131,290	7,045	442,241	10,577	452,818

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	442,241
「その他」の区分の利益	10,577
セグメント間取引消去	△8,309
全社費用(注)	△152,123
四半期連結損益計算書の営業利益	292,385

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分されない土地建物について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において28,552千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,096,762	2,548,224	232,671	4,877,657	22,392	4,900,050
外部顧客への売上高	2,096,762	2,548,224	232,671	4,877,657	22,392	4,900,050
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	142,990	142,990	846	143,836
計	2,096,762	2,548,224	375,661	5,020,648	23,238	5,043,886
セグメント利益又は損失(△)	199,981	77,845	△2,699	275,127	15,288	290,416

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,127
「その他」の区分の利益	15,288
セグメント間取引消去	2,437
全社費用(注)	△161,176
四半期連結損益計算書の営業利益	131,676

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。